



## 学校公開日に学校保健委員会（講演会）

1月26日（木）学校公開日の3時間目に学校保健委員会を開催しました。とても寒い日でしたが、時間通りに入場完了して、きちんとした態度でお話を聞くことができました。

歯科検診の際、学校歯科医さんより不正咬合が増えてきているということをお聞きし、今回は、児童および保護者向けの講演会として実施しました。講師として尾張矯正歯科の渡邊崇先生に来ていただいて、「学童における不正咬合」というタイトルでお話を伺いました。

不正咬合だと、食べ物が上手にかめなかつたり、発音がおかしくなったり、顔の形がゆがんでしまったりするそうです。現在は、矯正歯科で治療することによって、正常な状態に直すことができるそうです。

不正咬合の原因としては、遺伝的なものと後天的なものがあり、そのほとんどは治療で治るということです。遺伝的なものはどうしようもありませんが、後天的なものは、注意すれば避けられます。後天的な不正咬合の原因としては、次のことが挙げられます。

- ・ 事故やけが
- ・ 指しゃぶり
- ・ 悪い姿勢（頬杖、片側に伏せて寝る など）
- ・ 片側ばかりで噛む
- ・ 柔らかいものばかり食べる
- ・ 食べ物を飲み物で流し込む

日頃から、こうした点に注意して生活するようになりたいですね。

また、今日のお話の中にも、「虫歯菌が脳梗塞や心筋梗塞の引き金になる」ということが出てきました。家族ぐるみで歯の健康について意識した生活を送りたいものです。



## 1年生で保健指導

### 「6歳臼歯のみがき方名人になろう」



1月31日（火）4時間目に1年1組で「6歳臼歯のみがき方名人になろう」というタイトルで、保健指導を行いました。ちょうど6歳頃に生えてくる永久歯は、磨きにくさもあって、大変むし歯になりやすいです。そんな6歳臼歯について詳しく理解し、むし歯にならないための磨き方を勉強しました。紙芝居あり、歯科模型あり、マスコット人形ありで楽しく学びました。歯医者さんでシーラント処置をしてもらうのも虫歯予防に有効です。ご参考までに。